

川内村社会福祉協議会沿革

	概 況 内 容
昭和30年2月1日	川内村社会福祉協議会は任意団体として発足し、村役場住民課指導の下、社会福祉の向上を目指す。
平成3年3月25日	任意組織の協議会での活動は適正円滑な活動と健全なる運営が難しいことから法人格の認可を得る。事務所を川内村役場内に設置
平成 3年4月1日	法人登記をする。
平成 8年7月1日	事務所を役場西側の村研修センターへ移動する
平成12年4月1日	通所介護事業所・訪問介護事業所開設 事務所・事業所を複合施設「ゆふね」に移す
平成13年4月1日	居宅介護事業所開設。訪問調査、ケアプラン作成を村から受託する。
平成13年3月7日	日本財団から車いす対応車両の助成により、スバルサンバー配置
平成13年7月1日	社協広報を村広報の一角を借り掲載始める（ふれあいひろば）の名称
平成16年4月1日	車椅子同乗車両（軽自動車）を使い貸し出し事業始める。
平成17年4月1日	川内分校が県のボランティア指定校となり、村社協として全面協力をする。
平成18年4月1日	居宅介護事業所で村から予防プラン作成を受託する。
平成18年4月1日	一人暮らし高齢者等の閉じこもり防止のため「いきいきサロン」を村内5地区で開設する。
平成19年4月1日	村民生児童委員会が全国民生委員互助共励事業の指定を2年間受ける。
平成19年7月10日	村から車いす同乗車両（ワゴン車）を借り受けて貸し出し事業を拡大する。
平成20年4月1日	通所介護事業給食を外部委託にする。 通所介護事業所に中間浴槽を設置。
平成21年8月1日	日本赤十字社並びに共同募金会からの助成を頂き、訪問車2台購入。日赤補助車両（ダイハツアトレー）共同募金補助車両（ホンダフィット）
平成21年10月1日	生活福祉資金貸し付け事業の改正
平成23年3月16日	原発事故により行政と一緒にビックパレットに避難（全村避

	難)
平成23年3月24日	避難所での聞き取り調査・ニーズの把握。要介護者や虚弱者等の支援（排泄の介助や入浴の介助）合わせて市内の介護サービス事業所への介護サービス移行の案内をし適切なサービスへ結びつける。
平成23年4月4日	生活支援金貸付開始
平成23年5月1日	生活支援ボランティアセンター「おだがいさまセンター」を開所する。
平成23年5月9日	2次避難先である旅館等へ出向き、介護予防サロンを行なう。また、避難されずに村内に滞在している要介護者や高齢者の自宅訪問し、生活状況の把握、相談など行なう。
平成23年5月21日	郡山市内に避難している川内村民を対象に介護予防教室（介護予防デイサービス）を実施。
平成23年6月8日	仮設住宅入居者支援。高齢者、障害者を対象に避難所から仮設住宅に入居する際の移送等を支援する。
平成23年6月9日	郡山医師会介護医療病院の医師、看護師と村内から避難されていない要介護者宅を同行訪問する。
平成23年7月1日	仮設住宅へ入居された方への訪問調査
平成23年8月1日	仮設入居者生活支援。仮設住宅に入居した高齢者や障害者で移動の手段がなく、買い物、通院等が困難な方への生活支援。
平成23年9月1日	高齢者福祉拠点として「あさかの杜ゆふね」開所。社協事務所を移設し、生活相談、要援護者の見守り、地域交流サロン、配食サービス、介護保険事業（デイ・ヘルプ）を開始する。
平成24年4月1日	社会福祉協議会事業「ゆふね」で再開。介護保険事業の再開。高齢者サポートセンター（郡山地区、いわき地区、川内地区）には生活支援相談員4名を配置。住民の見守り、相談業務を行なう。
平成24年11月1日	中規模サポート拠点「五社の杜サポートセンター」開所
平成24年11月1日	川内村からの受託事業。村内の高齢者の方を対象に配食（弁当）事業実施。
平成25年4月1日	通所介護事業所が小規模事業所に変更となる 定員25名

平成25年8月1日	川内村からの受託事業で高齢者や障害者で交通手段がない方を対象に村内の医療機関、金融機関、商業施設等への外出を支援する事業「外出支援サービス」を実施。
平成26年4月1日	福島県指定事業所から川内村指定事業所「基準該当訪問介護事業所」に変更となる。
平成27年12月1日	福祉バス購入
平成27年2月27日	通所介護事業所、特殊浴槽1台購入（更新）
平成28年4月1日	通所介護事業所が小規模から通常規模事業所へ変更となる。 定員30名
平成28年6月21日	通所介護事業所、洗濯機2台購入（更新）
平成28年6月4日	川内村からの受託事業で高齢者や障害者で交通手段がない方を対象に村外の医療機関への外出を支援する事業「外出支援サービス」を実施。
平成28年8月23日	外出支援送迎 国と委託契約「平成28年度福島県原子力災害非難区域等帰還・再生加速事業」
平成28年12月	外出支援用送迎車リース開始
平成29年3月26日	あさかの杜ゆふね閉所式（応急仮設住宅含む） 生活支援相談員5名はすべて4月から五社の杜勤務
平成29年4月1日	社会福祉法改正により本社協定款を変更し運用開始（知事認可29年1月12日）
平成29年4月1日	通所介護事業所定員35名とする
平成29年6月8日	ジャパングルフツアーから軽自動車贈呈 （宮里優作会長から）
平成29年9月5日	日本赤十字社から社資募集を通じて事業の進展に寄与されたことにより感謝状贈呈される。
平成30年3月7日	日本赤十字社支援で福祉車輛購入（車椅子2台対応ハイエース）
平成30年7月1日	地域包括支援センターを受託し「ゆふね」内に新事務所を構える
平成30年7月17日	地域包括支援センター受託により本社協定款を変更し運用開始（知事認可30年7月13日）
平成31年3月7日	車椅子対応車両貸出事業を村受託から独自事業に移し、新たに車椅子対応車輛購入（ニッサンセレナ）
令和元年6月14日	ジャパングルフツアーから軽自動車贈呈 （石川遼会長から）

令和2年1月20日	川内村遺族会 靖国神社参拝
令和2年2月24日	デイサービス送迎用大型車輛購入（14人乗りハイエース）
令和2年3月6日・7日	ハートセーバーファーストエイド講習会 社協職員全員 講師 福島医大 日本 ACLS 協会 大戸実氏
令和3年9月30日	デイサービス厨房、冷凍冷蔵庫1台、製氷機購入1台（ホシザキ製）
令和3年10月7日	デイサービス厨房、旧中学校からスチームコンベクション、 包丁滅菌器搬入
令和3年11月7日	村祭りに於いて、社協のバザー実施（ヘリポート）
令和3年12月22日	社協法人化30周年記念式典 コミセン 表彰、記念講演「大和田新氏」
令和4年3月1日	社協広報誌「ふれあいひろば」第1号発刊 （作成に台湾友好基金活用）
令和4年3月16日	郡山信用金庫から外出支援用送迎車寄贈される トヨタノア1台 「郡信、有馬理事長」出席で贈呈式を実施
令和4年9月	社協広報誌「ふれあいひろば」第2号発刊
令和4年10月7日	遺族会に対する援助協力として、慰霊祭、追悼式（JA 福島さくらふるさと）を実施
令和4年11月	遠藤医療財団より助成。特殊寝台2台歩行器3台車いす2台 購入
令和4年11月6日	かわうち祭り秋の陣にて、バザー、大学芋の販売を行い、収 益は共同募金会へ寄付（田ノ入工業団地）
令和5年2月	社協広報誌「ふれあいひろば」第3号発刊
令和5年11月 14・15日	遺族会 県護国神社参拝、小田山中霊堂見学